



スミフル・フィリピンの バナナ農園における 人権侵害

ポール・ジョン・ディソン
スヤパ農園労働組合
(ナマスファ:
NAMASUFA-NAFLU-KMU)

BOYCOTT!
Sumifru ANTI-WORKER
PRO-MARTIAL LAW



はじめに

- 広大なバナナ農園の労働者は安全ではなく、多国籍企業による人権侵害が起きている。
- 低賃金である他、手当てもなく、正規雇用でもない。また、労働者は、組合潰し、「赤（共産主義者やテロリスト）」のレッテル貼り、ハラスメント、脅迫を経験したり、捏造された容疑をかけられたり、殺害されたりしている。

An aerial photograph showing two red tractors pulling yellow harvesters in a field, moving from top-left to bottom-right. The field is a mix of brown and green, suggesting a harvest in progress. The image is partially obscured by a large, curved, reddish-brown graphic element on the right side of the slide.

今日の話の内容

- 労働者の権利は人権
- ハラスメントと脅迫
- 超法規的殺害の未遂と超法規的殺害 (EJKs)
- スヤパ農園労働組合 (ナマスファ: NAMASUFA) の現状

BOYCOTT!
Sumifru ANTI-WORKER
PRO-MARTIAL LAW



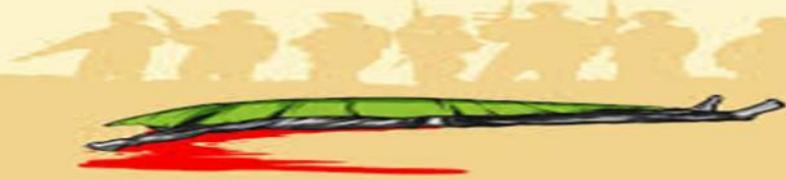
労働者の権利は 人権

- 安全でない労働環境
- 個人用防護具(PPE)の不足
- 組合潰しと不当労働行為
- 手当ての無支給
- 低賃金
- 有毒化学物質への曝露



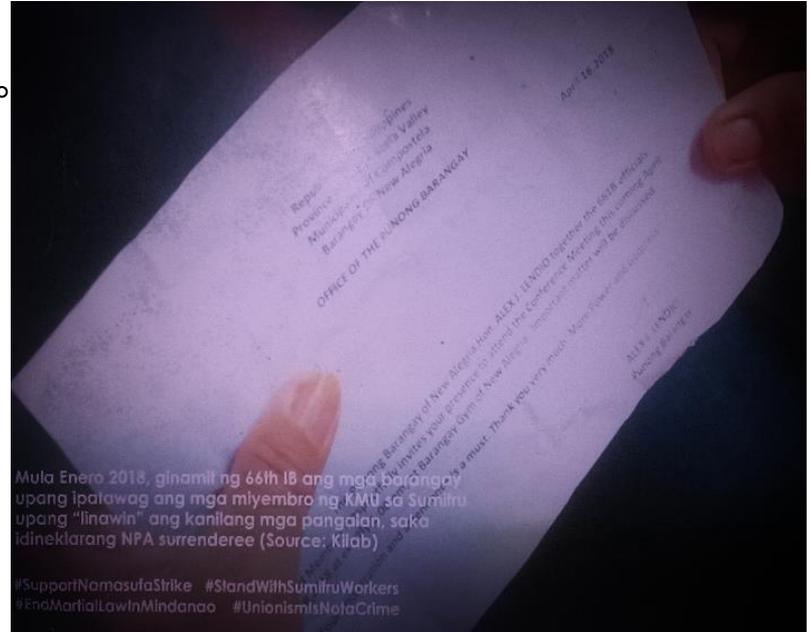
BOYCOTT!

Sumifru ANTI-WORKER PRO-MARTIAL LAW



ハラスメントと脅迫

- 2018年3月: バナナ梱包作業場220のナマスファ労働組合支部は、第66歩兵大隊からコンポステラ町シオコン村庁舎に召喚され、ゲリラを支援していると糾弾された。また、私たちの組合の中央組織である「5月1日運動」(KMU)はテロリストと呼ばれた。
- 多くの組合幹部が、知らない携帯番号からショートメッセージで死の脅迫を受けてきた。労働者は自分たちの権利を促進しようとしているだけなのに、スミフルやスミフルに出資している資本家が、このような手口を使って労働者を脅そうとしていると、私たちは考えている。
- ミンダナオで発せられた戒厳令の下、民主的なスペースは小さくなった。コンポステラ町の私たちの地域が非常に軍事化されたため、特に農業労働者は影響を受けた。



BOYCOTT!
Sumifru ANTI-WORKER
PRO-MARTIAL LAW



超法規的殺害の未遂と 超法規的殺害 (EJKs)

- 2018年9月4日: ナマスファ理事のVictor Ageasが待ち伏せされ襲われたが、幸運にも生き延びた。この事件は、この日に先だって労働者が資本家(スミフル)の事務所で行った抗議活動に対する(スミフル)資本家の報復であると、私たちは考えている。

- 2018年10月30日: 労働者のストライキの強制解散から19日後、コンポステラの町の中心部で、組合リーダーの一人であるDannyboy Bautistaが殺害された。

- 2018年11月11日: ストライキに積極的に参加していた組合メンバーであるJerry Alicanteは、彼の家の外で待ち伏せされた。この私たちの同僚は腕に銃弾を受け、急いで走って逃げて助けを求めた。

- 2006年12月15日: 当時の組合委員長であったBoy Barriosの一団が待ち伏せされ襲撃を受け、仕事に行く委員長を迎えに行った仲間と一緒にいたJerson Lastimosoが殺害された。



BOYCOTT!

Sumifru ANTI-WORKER PRO-MARTIAL LAW



スヤパ農園労働組合 (ナマスファ)の現状

- 労働者のストライキが暴力的に解散させられてから3年経ったが、正規雇用や復職について、最高裁や高裁は依然として決定を出していない。
- 現在、労働組合のメンバーは530名で、正規雇用や復職について、最高裁や高裁が以前に出した決定を資本家スミフルが尊重しなかったことにより影響を受けている。
- 労働者はCovid-19による経済的な影響や失業を理由とした食料不足を経験しているが、コミュニティー・ガーデンを営み、そうした困難を軽減している。
- 私たちは依然として(スミフルに)復職できていないにもかかわらず、組合のリーダーやメンバーは、NTF-ELCAC (地方共産党の武力紛争を終わらせるための全国タスクフォース)のリーダーシップの下、ハラスメントや脅迫を受け続けている。



BOYCOTT!

Sumifru ANTI-WORKER PRO-MARTIAL LAW



- フィリピンのような後進国では、労働者の権利を踏みつけるようなことが続いている。
- 生活するのに十分な賃金、正規雇用、権利の尊重、社会変革を求める労働者を黙らせようと、資本家と国家は、ハラスメント、脅迫、殺害などのやり方で系統だった協力関係にある。
- 組合を潰して、フィリピン人労働者がより広範にわたって組織化することがもはやできないよう、国軍がスミフルのような資本家の私兵のように使われている。
- 国家の味方をした裁判所の決定は効果のないものである。
- 労働者の共同行動が、フィリピン社会の状況を変えるために依然として重要である。

おわりに

